

摩訶般若波羅蜜多心經

まかはんにははらみつたしんぎょう

意味

偉大な智慧・悟りを開くための重要な点をまとめた教え

観自在菩薩

行深般若波羅蜜多時 照見五蘊皆空 度一切苦厄

意味

観自在菩薩が、深遠なる般若波羅蜜多（悟りを開くための修行）を実践中に、五蘊（「色」物質的存在・肉体）「受」心の働き「感受作用」「想」心の働き「想像」「行」心の働き「意志」・「識」心の働き「識別・判断」もまた、皆、その本質は「空」であるということを得得し、あらゆる苦しみから解放されました。

舍利子

色不異空 空不異色 色即是空 空即是色 受想行色亦復如是

意味

舍利子（シャリプトラ）よ、色（物質的存在・肉体）は空と異ならず。また、空は色と異ならず。色はすなわち空であり、空はすなわち色なのです。（これは、何もないということではなく、その時々他のものとの関係性、因縁によって色が顕在化するのです。）心の働きである受（感受作用）・想（想像）・行（意志）・識（識別・判断）も同じく空なのです。

舍利子 是諸法空相 不生不滅 不垢不淨 不增不減 是故空中 無色 無受想行識 無眼耳鼻舌身意

意味

舍利子よ、このようにすべての現象は因縁によって生じるのです。すなわち、生じるでもなく滅するでもなく、常住不変であるのです。また、汚ないでもなく汚なくないでもない。そして、増えるでもなく、減るでもないので。それゆえに、空（因縁による世界）には、色（物質的存在・肉体）もなく、受（感受作用）・想（想像）・行（意志）・識（識別・判断）もなく、眼・耳・鼻・舌・身（体）・意（心）もなく、色（形）・声（音）・香（香り）・味・触（触れる対象のもの）・法（心の対象となるもの）もありません。眼界（視覚的な領域）から意識界（意識的な領域・心）に至るまでもないので。

無色声香味触法 無眼界 乃至無意識界 無無明 亦無無明尽 乃至無老死 亦無老死尽 無苦集滅道 無智亦無得

意味

人が苦しみを感じる原因を分類した十二因縁のはじめの無明も実体がなく、無明が尽きることに実体がないのです。老いや死もないのです。同じく、老いがなくなったり死がなくなったりすることもありません。苦諦（苦しみ）・集諦（苦しみの原因）・滅諦（苦しみの止滅）・道諦（苦しみの止滅に至る道）の四聖諦もありません。智慧もありません。同じく、私に実体がありませんので、私が何かを得るといこともありません。

以無所得故 菩提薩埵 依般若波羅蜜多故 心無罣礙 無罣礙故 無有恐怖 遠離一切顛倒夢想 究竟涅槃

意味

何かを得たということがないので、菩薩は般若波羅蜜多（悟りを開くための修行）によって心に障壁となるものがなく、心に障壁がないのですから恐れもありません。あらゆる誤った思い込みから離れ、涅槃の境地に至るのです。

三世諸仏 依般若波羅蜜多故 得阿耨多羅三藐三菩提

意味

三世（過去・現在・未来）の全ての仏陀は、六波羅蜜（①布施・親切 ②持戒・言行一致 ③忍辱・忍耐 ④精進・努力）「⑤禪定・反省」「⑥智慧・修養」によって、最高無上の悟りと言われる無上正等覺を得たのです。

故知般若波羅蜜多 是大神咒 是大明咒 是无上咒 是无等等咒 能除一切苦 真实不虚

意味

だから知るべきなのです。般若波羅蜜多（悟りを開くための修行）は大神咒・大明咒（大いなる真言）であり、無上咒（最高の真言）であり、無等等咒（比較する対象がないレベルの真言）なのです。その真言は、あらゆる苦を取り除き、真実であり、偽りのないものなのです。

故説般若波羅蜜多咒 即説咒曰

意味

では、般若波羅蜜多（悟りを開くための修行）の真言を教えよう。（補足：無分別智・既存の知識で概念化せず、あるがままを感じるという智慧）

揭帝揭帝 般若波羅蜜多 揭帝揭帝 菩提薩埵

意味

ガデーガデー パラガデー パラサムガデー ボーディスワーハー（往け！往け！彼岸に往け！彼岸に到達して悟りを開こう！）

般若心經

意味

般若心經完。